THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう,義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2014-2015)
国　際 主題 :“Talk Less,Do More”“言葉より行動を”
ア ジ ア主題 :“Start Future Now”“未来を始めよう、今すぐに”
西日本区主題 :“響き合い、ともに歩む”
中 西 部主題 :“YMCA・ワイズ共に、社会に光を”
ク ラ ブ主題 :“ワイズへ女性の視点を！”

第216号
2015年1月

聖書のことば

隣人を自分のように愛しなさい。
（マルコによる福音書12章31節）
選者　保田　圭子

選者のことば

隣人とは、隣に住む人、仲良しの人、気の合う人、ばかりではなく、すべての人。神に造られたものとして「共に生きる」ことに向かっていかなければならない存在かと思うのですが、近頃はますます自分が一番、自分が大事という、世の中です、もう一度、隣人を愛するってどんなことかな、と考えてみたいです。

1月第1例会プログラム

中西部合同新年例会

日時：2015年1月17日（土）13：00～16：00
受付　12：30
場所：茨木市役所南館9F「スカイレストラン」
プログラム
第1部　セレモニー
第2部　講演「ブルーグラス音楽とは」　東賓文男氏
演奏　シャギー・マウンテン・ボーイズ

11　月　統　計			
第1例会出席者数	例会出席率	B F 統 計	
メンバー　14名	出席者　14名	日本　317ｇ　累計　2550ｇ	
ビジター　7名	メイキャップ　3名	外国　19ｇ　累計　463ｇ	
ゲスト　1名	合　計　17名	提供者：生雲、今井、江見、国友、桑原、杉浦、高橋、武井、藤好、吉田、渡辺	
コメット　1名	在籍者　18名		
合　計　23名	出席率　94%		

新年にあたって

渡辺　宏子

昨年の7月に会長に任ぜられて、あっと言う間に新年を迎えます。ハラハラ、ドキドキの6か月でした。

まず、7月には、わがクラブの支援先のミャンマーの最近の情勢についてお話をうかがいました。

8月には、中西部部長公式訪問を受け、今期わがクラブが第18回西日本区大会のホスト役として大役を担うためチームワークを養うワークをしてー体感を味わいました。とてもにぎやかで笑いがいっぱいの例会でした。

9月には、シェルターに入られた女性と子ども（主にDVから逃げてこられる方々）を支援される活動のお話をうかがい、私たちになにが出来るかを考えました。

10月のDBC例会では、京都トウービークラブのみなさんと楽しいひとときを持ちました。

11月には、会長になるにあたって、どうしても皆さんに紹介したい楽器のヘルマンハープの演奏会を例会中で行えてうれしかったです。

12月には、例会での楽しいクリスマスを計画せず、私の希望である東日本大震災以来、福島で放射能被害をうけている子どもたちのために、治療に出かけられている、医師の山崎知行さんからお話をうかがい、心に留めたいという思いを実現させていただきました。

このようにして過ごせたのは、メンバーの方々の準備、気配りなどで、支えて下さったからだと感謝しています。

新しい年を迎えて、又、メンバーと話し合い、考えながら楽しく、第18回西日本区大会を成功させるために準備しながら過ごせたらと思っています。

この半年間、メンバーは西日本区の全部会に参加し、第18回西日本区大会のアピールを行ってきました。成功させたいというのも、会長としてのこの1年に行いたいことの大切なことの一つです。

このブリテンをお読み下さいました方々、6月12日（金）～14日（日）の第18回西日本区大会をお覚えくださり、参加してくださいます様お願い申し上げます。

12 月例会報告

心にいつも

武井　和子

梅田の繁華街はクリスマス一色に染まり、賑やかで華やかな人ごみから離れて、ホテルグランヴィア大阪へ急ぎました。

今日 12 月 10 日（水）第１例会の卓話は「チェルノブイリと福島から」をテーマに医師で日本基督教団大阪教区核問題特別委員会委員の山崎知行先生から伺いました。1986 年に旧ソ連のチェルノブイリ原子力発電所の事故から 28 年経過している現在も、今なお放射線管理区域が存在し、一般市民被爆限度除染の長期目標が必要と伺った。汚染された土地に

深い穴を掘りその中に汚染された土壌を埋め植樹して、深い森にして人々の立ち入りを禁じている。

福島の現状は？　事故から３年経過しても何一つ解決していない東北の街々……。空間放射線量は減少しているが、土壌汚染は減らない。そのような状態の福島で、人々は不自由な生活をし、気兼ねなく話すことも許されない日々を過ごしておられる。今、選挙運動の最中、政治家のみに頼らない社会を構築しなければと思うが、私たち人間は愚かな生き物、自分に関係ないと思うことはすぐに忘れる。福島の子供たちのために、どうしても保養所が必要だと言われました。関西の人々が子供たちに光を与え、保養の場のために人力を尽くそうとおっしゃいました。

渡辺会長が華やかなクリスマスのこの時期だからこそ、心にとめるお話しをと、今日の卓話になりました。神さまがこの世に光をお与えになるために、主イエスキリストを地上に遣わされました。私たちは体のともし火の目で福島を想い、支援を続けて、心にいつも留めておきましょう。

☆☆☆

クリスマスチャリティコンサートに参加して

保田　圭子

ここ近年、YMCA のクリスマスといえばクリスマスチャリティコンサートです。今年も昨年と同じく、センテニアルの芝田さん率いるバンド、「バックウッズマウンテニアーズ」の演奏。昨年私は受付など手伝っていたので、演奏はよくきけず、カントリーウエスタンってなんか楽しそうねーと、いうくらいの感想でしたが、今年はじっくり聞けて十分楽しめました。

芝田さんはバンジョー、それにベース、ギター、マンドリン（クラシックのものと違って平たいもの）バイオリンの５つの楽器で、電気楽器は一切使わないそうです。特にバイオリンはフィドルというそうでブルーグラスというジャンルのなかで発達したそうです。曲弾き風でメロディを弾くとても楽しいものです。

ふと、思い出しました。「大きな森の小さな家」でローラのおとうさんが土曜日になると弾いてくれた楽しいバイオリン……はぁ～、これだったのね！　アーリーアメリカンの世界にどっぷりつかっている間にあっというまに時間がたちました。50 年続けていらっしゃるとか、若いバンドにはない「余裕」を感じました。このバンドは来年の西日本区大会でも聞けますよ！　と、いうことでこれはチャリティコンサートでありました。

今年は「広島市豪雨災害支援」。鍛冶田館長と工藤実行委員長が趣旨をおはなしされました。クリスマスは自分だけでなく、ほんの少しでもヒトのことを考えられたら。これが YMCA のこころです。楽しい音楽に癒されて、困難の中にある人のために祈ることができて……、自己満足（？）に浸った夜でした。

☆☆☆

中西部ＹＹフォーラムに参加して

今井　利子

11 月 29 日（土）中西部西野Ｙサ･ユース事業主査のリードによって、大阪 YMCA で YY フォーラムが開催された。清水部長の「中西部の流れを変えよう」の標題の思いを述べて、YMCA も若い人、若い力を方向性を持って、と熱く語られた。末岡総主事もワイズとユースとで研究し、社会のみなさんと共に交流出来るよう中期計画を、またアジアの子供らと共に生きていけるネット福祉社会を念頭に活動を進めている、と挨拶された。

その後、西クラブ吉村メンのご子息にユースコンボケーションの体験談を聞く。初めて外国の青少年と交流した日々のことなど､若さを感じ､若い人への期待を持たせてくれた。

フォーラムでは西日本区Ｙサ・ユース事業主任の藤本義隆さん（阿蘇クラブ）のお話があった。1983 年生まれの若さに驚いたが、18 歳で YMCA リーダー活動を始め、また父兄としても YMCA と接し、今やワイズメン。ワイズメンになることによって様々な人との出会いがあり、人生の経験が深くなった。このような自分の経験から人を誘っている。また、リーダーはワイズと継続する関係を持って欲しいと思う。リーダーシップを取った経験が社会人としての学びにつながるのではないか。若いワイズメンが少ないので、今のリーダーたちに YMCA と長く関わってほしいしワイズを理解してほしい、とおっしゃった。若い主任の熱弁に心打たれた。有意義なフォーラムだった。

大阪 YMCA 大会に参加して
変革とチャレンジ・ユースと共に

江見　淑子

11 月 29 日（土）14 時～ 17 時まで、大阪 YMCA 会館の全館を駆使して開催された。

創立 132 年を迎えた今年、公益財団法人としての事業展開をしたいという気迫が感じられた。式典では、ボランティアの功績をたたえて表彰し、中道基夫氏の基調講演があった。時代の要求に応える活動の中にも「串刺し」にしている精神は何かを問いかけた。YMCA に集まるさまざまな層の人が「居場所」を求めていることの大切さを示した。居場所は「神の国」なのだから。神学者らしい視点が心に残った。

200 余名が集まり、第二部では YMCA に関わるユースの活動報告会が同時開催された。惜しいことにほんの一部しか聞くことができない。グローバルという言葉に一抹の疑問を持つ私だが、事業の狙いは理解できるし、関わる若者とは言葉を交わしたいと思う。

後の YY フォーラムに急かされたが「骨密度・血管年齢測定室」にも行った。老人が行列しているのかと思ったら、意外にも 20 代の若者が並んでいた。私は血管年齢 90 歳というご託宣をもらった。これは回復不能なのだとか。私のいのちである血液・心臓・血管は元気に頑張っているのだ。さあまだ走るぞ、と開き直った一日でした。

ワイズあれこれ

杉浦　眞喜子

№1 区大会

以前（07 - 08 年度）「ワイズって？」という題で１年間コラムを書きました。拙い知識で、気の向くままに「ワイズ」に関するいろいろを結構楽しく書かせて頂きました。改めて当時の原稿を見たら、「まだ大事なテーマがたくさん残っていますが……」と最後に書いてありました。でも、あれから随分時間がたち、「もうみんなワイズのベテランになっているし、今さら私が言うことないよね」と思うのですが……。でも半年「あれこれ」書いてみようと思いました。おつきあい下さいね。

今私たちは、今年の６月に開かれる「第 18 回西日本区大会」のホストとして、準備に力を注ごうとしています。この「第 18 回」は、「日本区」が西と東に分かれた時からの回数です。その前は「日本区大会」として 50 回までありました。この最後の「第 50 回日本区大会」は、私たちなかのしまクラブデビューの大会で、名古屋で開かれました。何だかワクワクしながら大会に出たこと、覚えていらっしゃる方いますよね？

この最後の日本区大会の前、48 回と 49 回の間、49 回と 50 回の間の２回「西副区大会」というのがありました。つまりこの頃の４年間は、東西に区が分かれる準備として、「副区」というものがあったのです。そして東西に分かれた時の予行演習のように、「区大会」の替わりに「副区大会」が開かれていたわけです。その少し前から日本区大会に行くようになっていた私は、詳しいことが分からず、せっかく仲良くなった東の方と会えないのがちょっと不満でした。

西日本区大会は、６月に開くと定款に決められています。大体第１週目の土日が「東日本区」、次週が「西日本区」大会となっています。例外もありますが、その年の理事の所属する部で開かれることが多く、理事ホームクラブとその周辺のクラブがホストになり、それぞれ工夫を凝らして大会作りをしているようです。

さて、私たちは、ホストとしてどんな大会を作り上げることが出来るでしょう。

大阪土佐堀クラブ 100 人例会に参加して

藤井　弥生

土佐堀クラブの 100 人例会はワイズの方だけでなく、ワイズ以外の方も多く参加されていました。只野未来会長の開会宣言、点鐘の後、ワイズの例会の進め方について宣言をし、鐘を鳴らし、最後は閉会鐘を鳴らします。ワイズソングのなかの「手を上げ」では手を上げてください、と分かりやすく丁寧にワイズのことを説明されました。

コンサートは、佐野多由子さんの優しい素敵な歌声、何度目かしら、こころ癒され、こころゆたかになりました。秋の童謡、なつかしく昔を思い出しながら楽しく大きな声をだして歌いました。楽しい例会、永井さんお誘いいただき元気が出ました。ありがとうございました。

国友　朝子

11 月 19 日、土佐堀クラブの 100 人例会に出席。音楽例会と聞き、参加しました。演奏者はおなじみの佐野多由子さん。娘と同じ年齢の方なのにエレガントな大人の女性。うらやましい。ワンドリンクの甲州の白ワインは新酒でした。冷えたのをたっぷりと。日本のワインもなかなか美味しくなりました！　土佐堀クラブの例会はいつもふんわり温かい雰囲気で楽しいです。ドリンクのおかげで一段とふんわりして気持ちよく歌いました。ありがとう。

題名のないコラム６

国友　朝子

１月の章

新年おめでとうございます。

大空に向かい柏手　年新た　　金治

「初日の出」

上記の川柳で「大空に」とあるのは東の空、つまり初日ですね。その初日に向かって柏手を打ち、新年を祝いその年の平安を願うというのはおおかたの日本人の伝統的な心意気ではないでしょうか。

初日の出というのは１月１日元旦の朝の日の出のことで、我が国では一年の最初の夜明けとしてめでたいこととされており、大勢の人々が初日の出詣でをします。この習慣はもともと宮中における天皇の元旦の儀式が始まりで、それが庶民の間に広まったということです。明治以降に盛んになり現在に至っています。

有名な初日の出のスポットをあげてみましょうか。

＊南鳥島：日本の領土の最東端に位置し、いちばん早い初日の出が見られます。　５時 27 分頃

＊富士山：日本本土で最も早い初日の出　６時 24 分ごろ

＊与那国島：日本の最西端の島。国境の島でもある。ここが最も遅い初日の出になります。

日本人は初日の出に限らず太陽に向かって手を合わせたり、遙拝したり、します。亡き父は毎朝、洗面を終えると東の方に向かって手を合わせておりました。一日の行動を始めるにあたってその日の事なきを祈り、家族の安寧を祈っていたのではないかと思います。

日は昇り日は沈む、何事の不思議はない、けれど何事が起きようとも変わらない自然のめぐりであり、その不思議に対して思わず手を合わせたくなるのは日本人のDNAではないかと思うのです。みなさんはいかが。

12 月第２例会報告抄

日　時：2014 年 12 月 19 日（水）　18：30 ～ 20：30
場　所：大阪YMCA　504 号室
出席者：16 名

1：2015 年３月の卓話を YMCA スタッフ　近藤麻衣さんに決定
　タイトルは「ミャンマーワークキャンプでの成果と思い」
2：土佐堀クリスマスの集いへ支援金として 10，000 円ニコニコより支出した
3：中西部合同新年会でりんごジャムとアクセサリの販売をおこなう
4：チャリティーボウリング大会への表現コミュニケーション学科のチーム参加費 14，000 円を支援決定、同時に支出した
5：次期クラブ役員決定のため推薦委員会をたちあげた
6：ブリテンを 2015 年１月号よりワードで編集すること、費用の件とが了承された

◇１月お誕生日の方◇ *Happy Birthday*
江見　淑子　１日　　今井　利子　19 日

ニコニコ献金　12月　19,200円

《ニコニコメッセージ》 -12月例会 -

☆今日は例会前から妹と買い物デート、楽しいひと時、そして例会出席。興味深いお話を楽しみに、またおいしいお食事ありがとうございました。（東京クラブ:上原玉音）

☆久しぶりに例会に出席させていただきありがとうございます。今年も土佐堀クリスマス献金をよろしくお願いいたします。（大阪センテニアルクラブ：大村　肇）

☆前期１年間主査として皆様に御協力頂きましてありがとうございました。肩の荷も下り気楽に過ごしております。今日はお誘い頂いて感謝です。（大阪土佐堀クラブ：北村京子）

☆今井さんには沢山の借りがあり、少しでもお返ししたいと出席させて頂きました。大阪クラブへ数多くの参加を頂いております。なかのしまの才女とお話するのを楽しみにしています。（大阪クラブ：清水　汎）

☆はじめて寄せていただきました。山崎先生のおはなしを聞かせていただきよかったです。（和歌山紀の川クラブ：土肥正明）

☆年に一度の訪問、やっと実現しました。卓話が楽しみです。特に放射性核廃棄物の処理は大問題。これを考えると、兄を広島原爆で失った私は、原発の振興は許せません。（大阪茨木クラブ：三牧　勉）

☆今年の締めくくりにと思って参加したなかのしまワイズ。チェルノブイリの原発汚染のお話を聞き、気持ちも引き締まる思いで聞いております。（大阪センテニアルクラブ：山田孝彦）

☆いろんなクラブからのお客様で話題も豊富にお話できて楽しい例会になりました。原発の話は忘れてはならない大切なこと、皆懸命に聞いていました。（今井）

☆山崎先生を東北に派遣している大阪教区に感謝。核がもたらす大地の荒廃に歯ぎしりしています。キリエ・エレイソン。（江見）

☆この時に放射能のことを学び、改めて原発のことを考えることが出来ました。福島の仮設住宅でのご不自由な生活を送られている方々の身に恵みがあるように祈りつつ。（大岸）

☆12月、街はイルミネーションが煌めいて華やぎます。でも、なんとまぁきらきらと贅沢な、と思います。特に3・11のあとは。明かりはそっと暖かくやさしいのがいいでしょ？（国友）

☆急に寒くなりました。油断していて衣類が冬になっていません。しばらく重ね着で間に合わせておきます。（桑原）

☆急に寒くなり、あっちこっちで雪のニュースが……ということで、あわてて車のタイヤを今日スタッドレスに替えてきました。これで安心。六甲山へも東山荘へも行けます。（杉浦）

☆福島の汚染の怖さを聴きながら、何か他人事のような気持ちになりつつあった、自分の心の貧しさに、ハンマーで頭を殴られた気分になりました。決して忘れてはいけない放射能の恐怖です。（武井和子）

☆きょうのおはなし、むつかしそう。渡辺さんのけが、はやくなおるように祈っています。（武井美帆）

☆今年も気がつくと12月。今年の１月は何をしていたのか思い出すのが一苦労、年ですか？（笑）（鳥居）

☆チェノブイリ、福島の原発事故のお話、感慨深かったです。（藤井）

☆街はクリスマス一色に彩られていますが、今夜の例会は放射能被害のありのままを学ぶ時になりました。チェルノブイリも福島も忘れてはいけないと。素敵なお誕生日祝いの例会でした。（藤好）

☆山崎知行先生のお話を聞くのは２回目です。ポーランド、ウクライナ、ベラルーシ、チェルノブイリなどこれらの国の事をもっと知りたいと思いました。（松下）

☆クリスマスにうかれないで（うかれてもいいけど）難しいお話を聞けてよかったです。今日はなんか疲れてます。（保田）

☆今更ながら放射能汚染の恐ろしさを知った。原発での電力依存は考えものですね。風、太陽、水などの発電かな？（吉岡）

☆私が、皆様にぜひ聞いていただきたい思いを実現出来てうれしいです。（渡辺）

欠席者メッセージ

★娘の出産で、東京に行っていました。母子共、健康でホッとしています。（生雲）

★楽しみにしていた例会なのに突然の怪我で参加できませんでした。この怪我を、自分自身の日々の行動を振り返りこれからの楽しい人生への糧として捉えていきます。でも痛かった～。（吉田）

◆ YMCA ニュース ◆

第 261 回 大阪 YMCA 早天祈祷会

日時：1月 16 日（金）朝7：30～8：30
場所：大阪 YMCA 会館 10 階チャペル
証し：大西 修 司祭（日本聖公会大阪教区主教）

チャリティーボーリング

日時：1月 24 日（土）17：30 現地集合
場所：桜橋ボウル 5階（大阪市北区梅田 2-4-2）
※地下鉄「西梅田」駅 10 号出口すぐ
定員：8チーム（1チーム4名）
参加：1名 3,500 円（クリスマス献金・景品代込）
※貸シューズ料金 300 円が別途必要です。
申込：1月 16 日（金）まで
土佐堀 YMCA　TEL06 － 6441 － 1123
ボーリングが得意な方も自信がない方も、ともに楽しむチャリティーイベントです。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

第 20 回 大阪 YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2014

日程：2015 年2月1日（日）
場所：ヤンマースタジアム長居（長居公園内）
「世界陸上」と同じトラックを走ります。ご友人やお知り合いの方もお誘いあわせの上、ランナーの応援もよろしくお願いいたします。

クリスマス献金

みなさまの日頃の献金と献身に感謝いたします。今期のクリスマス献金受付は1月末日までとなっております。次年度のクリスマス献金プロジェクトを継続できますように、再度ご協力と呼びかけをよろしくお願いいたします。
※参加方法に変更はありません。

新年おめでとうございます。歩みを止めず進み続ける時間の中で、新年や記念日は思いを新たにする機会を与えてくれる時のひとつ。一人ひとりの心に希望の光が輝きますように。　高橋京子

《《《《《《　お知らせ　》》》》》》

◎浅井洋子さん、児玉荘一さん（藤好さん友人）から BF 使用済み切手を頂きました。感謝。

編 集 後 記

新年おめでとうございます。渡辺期も残り半年になり、いよいよ西日本区大会です。メンバー全員がごきげんで良きチームワークを発揮できますように。また心をあわせて良きワイズ活動ができますように！